

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
保健体育	保健	1	一斉	共通	2

教科書（発行所）	現代高等保健体育（大修館書店）
教科書以外の教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

目 標	1 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てる。 2 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。 3 心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意思決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身に付ける。
-----	---

学期	学習事項	学習内容	考査等
学習計画	1 学期 3 単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠、出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康	思春期の特徴や性意識について健康面を中心に理解するとともに、健康課題や心理面の特徴、情報の行動への影響とそれらへの対処の仕方について学習する。 健康な結婚生活について、心身の発達や本人・家族の健康の立場から理解し、家族計画や受精・妊娠・出産の一連の過程を学習することで胎児や母親の心身の健康問題、人工妊娠中絶が女性の心身に与える影響について考える。 加齢に伴う心身の健康を理解し、若い頃からの健康的な生活習慣の形成や高齢者健康課題とすべての人が健康で安全に暮らすための社会的とりくみについて、理解する。	期末考査
	2 学期 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみ処理と上下水道の整備 5 食品の安全性	労働の健康への影響を確認し、労働災害について、その原因や具体的な防止対策・安全管理について考え、今後の生活にいかしていく態度を身につける。 職場の健康増進対策や日常生活での健康増進（余暇）について考え、今後の生活にいかせるようにする。 環境汚染（大気・水質・土壌）とその防止について、また産業廃棄物やごみ処理、上下水道整備について理解し、環境汚染が原因の健康問題についてより具体的に考える。 我々消費者の責任として、食品の適切な選択と管理、また商品の廃棄の際におけるごみの量を減らすための工夫について考える。	期末考査
	3 学期 6 食品衛生にかかわる活動 7 保健医療サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	食品の衛生管理のために、行政および製造・加工者がおこなっている対策例をあげることができるようになる。 我が国の保健行政の役割や医療保険のしくみや医療機関の役割を大まかに説明できるようになる。 医薬品の種類と正しい使用法、安全性を守る取り組みについて理解し、説明できるようになる。 健康づくりのためのさまざまな活動、民間機関や国際機関などの保健活動について理解し説明できるようになる。	学年末考査
授業の受け方 学習に向けての アドバイス等	【確かな学力を身に付けるためのアドバイス】 ・授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留めたりする」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切である。さらに学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められている。 ・教科書・保健ノートを中心に学習を進めるので、学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切である。 ・新聞やニュースに気を配り、保健や健康に関する記事をスクラップするなどして日頃から関心を持つことが大切である。 【授業を受けるに当たって守ってほしい事項】 ・教科書・ノートや配布されたプリント、タブレットは毎時間必ず準備しておく。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法	①定期考査結果 ②保健ノート・タブレット配信課題やプリントの記入内容からの理解度		